

マレーシア国際緊急援助活動の終結の決定について

- 3月11日の自衛隊部隊の派遣決定以降、消息不明のマレーシア航空370便の捜索活動を実施、マレーシア側より高い評価。
- 3月21日、捜索活動の拠点をオーストラリアへ移動することを決定。
- **4月28日、アボット豪首相が、海上捜索から海底捜索の段階に移行すると発表。今後は豪・中・マレーシアにより捜索活動を実施予定（豪航空機が待機）。**



4月28日、終結を決定
（「国際緊急援助活動の終結に関する自衛隊行動命令」を発出）
順次撤収（5月1日頃帰国）



マレーシア等各国からの評価

- ナジブ・マレーシア首相
「航空機による日本の支援は、消息不明となっている機体の捜索にあたり、大変価値のある有用なものであり、励みになるもので感謝している」（日・マレーシア電話首脳会談 3月21日）
- アボット豪首相
「南インド洋におけるマレーシア航空370便の捜索活動に係る国際的な協力への日本の貢献を歓迎」（日豪首脳会談に関する共同プレス発表 4月7日）

国際緊急援助活動の終結に関する自衛隊行動命令(26.4.28発出)の概要

- 自衛隊は、消息不明のマレーシア航空370便の捜索・救助のための国際緊急援助活動等を3月11日より実施しているところ、マレーシア政府との協議を踏まえ、4月28日をもって国際緊急援助活動等を終了することとする。(3月11日に発出した派遣命令による行動を終結。)

<現地支援調整所>

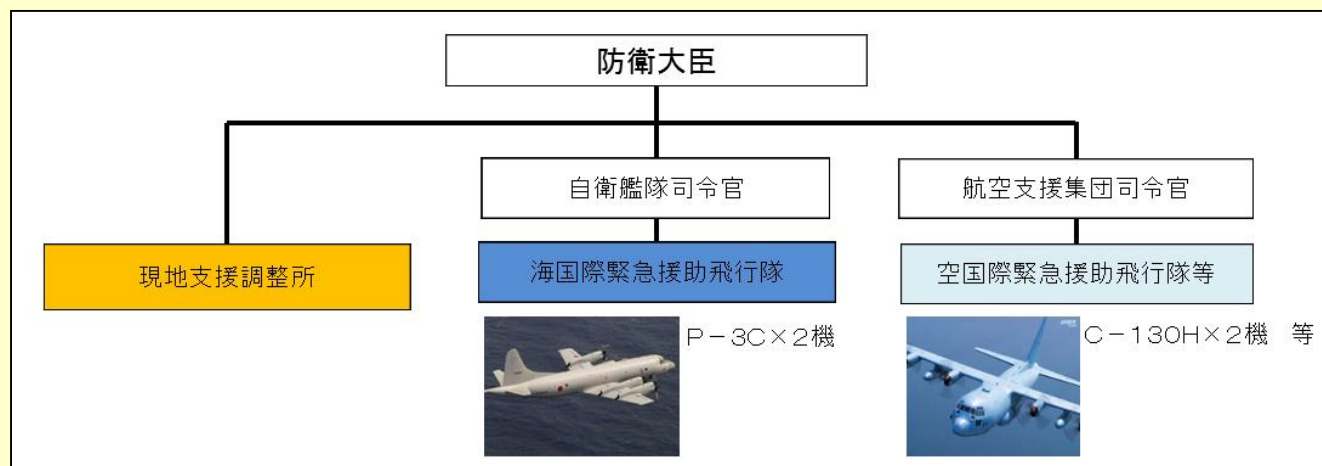
- 現地支援調整所長は、国際緊急援助活動等を終了するために必要な連絡調整等を実施した後、速やかに現地支援調整所を本邦へ帰国させる。その後、同調整所を廃止する。

<海国際緊急援助飛行隊>

- 自衛艦隊司令官は、平成26年4月28日をもって、現地における国際緊急援助活動等を終了し、速やかに部隊を本邦へ帰国させる。

<空国際緊急援助飛行隊等>

- 航空支援集団司令官は、平成26年5月1日(基準)をもって国際緊急援助活動等を終了し、空国際緊急援助飛行隊等の編組を解除する。



<自衛隊派遣部隊の編成>

自衛隊派遣部隊によるこれまでの活動

◇3月8日

- ・ マレーシア航空370便の消息不明を確認

◇3月11日

- ・ マレーシア政府より自衛隊の派遣要請、外務大臣より国際緊急援助活動への協力を求める協議
- ・ 防衛大臣から「国際緊急援助活動の実施に関する自衛隊行動命令」を発令

◇3月12日

- ・ 先遣隊4名出国、同日クアラルンプール到着
- ・ 防衛大臣から11日の行動命令の一部変更を発令
- ・ C-130H(1番機)が那覇基地を出発(13日スバン到着)

◇3月13日

- ・ C-130H(2番機)が那覇基地を出発(同日スバン到着)
- ・ C-130Hが搜索活動を開始

◇3月14日

- ・ P-3C×2機が那覇空港を出発(同日スバン到着)

◇3月15日

- ・ P-3Cが搜索活動を開始

◇3月21日

- ・ 豪を拠点とした搜索に係る行動命令の発出

◇3月23日

- ・ P-3C×2機が豪ピアース基地へ移動

◇3月24日

- ・ P-3Cが豪州西方沖における搜索活動を開始

◇3月25日～26日

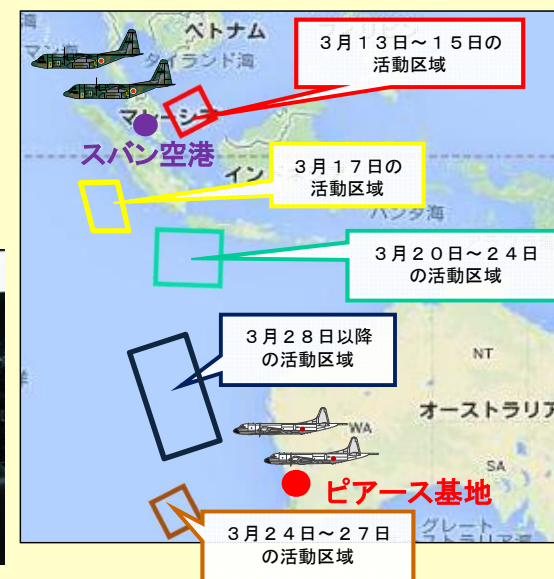
- ・ C-130H×2機が本邦待機のため小牧へ移動

◇4月7日～12日

- ・ P-3C×2機の機体及び要員の入替えを実施



搜索活動の様子



機種	活動実績		累計
	在スバン (マレーシア)	在ピアース (オーストラリア)	
P-3C	4回	32回	36回
C-130H	10回	—	10回